

# 新年のごあいさつ



菊陽町議会議長 大塚 昇



## 議事機関としての役割を果たし 執行部と切磋琢磨してまいります

あけましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、議会に対しまして温かいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、各地で記録的豪雨が発生し、特に8月の広島県では大規模な土砂災害により多くの犠牲者がました。7月から10月にかけては大型の台風(8号、18号、19号)が発生し、大きな被害をもたらしました。9月には、長野県の御嶽山が噴火し、多くの登山者が犠牲となりました。これらの自然災害で被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、一日も早く復興されますことを願います。

本町の東には、今も活発な活動を続ける阿蘇山があります。いつ大規模な噴火が起こるか分からないため、今後の動向に注意が必要です。また、本町の南には布田川・日奈久活断層が走っており、地震の発生が心配されます。これら自然災害の教訓を私たち一人一人が受け止め、「自分でできること」を問い直す必要があるとあらためて感じました。

国政の動きでは、消費税が昨年4月から3%引き上げられ8%になりました。その影響は、日本経済に予想以上の景気のもたつきを与えています。

昨年9月には第二次安倍改造内閣が発足しました。臨時国会で安倍首相は「若者にとって魅力ある町づ

調に進んでおり、本年初めには完了し、3年生も新校舎で卒業を迎えることができます。

今春には支所、地域センター、体育館、子育て支援センターを備えた光の森町民センター(愛称「キャロピピア」)が開所します。西部地域の新しい活動拠点として、大いに利用していただくことができます。

昨年11月には、姉妹都市であります鹿児島県屋久島町と姉妹都市盟約20周年を記念しまして、本町と屋久島町でそれぞれ植樹を行いました。屋久島から贈られた非常に貴重な「ヤクタネゴヨウ」をはじめ、屋久島に生息するたくさんさんの樹木を杉並木公園の「屋久島の森」に植樹しました。

ことは町の前身となる菊陽村が誕生して以来、60周年の節目の年を迎え、住民基本台帳の人口も本年中には、4万人を超える見込みです。近年では商業施設も整い、世界を市場とする企業を誘致するなど、住みよい元気のある町と言われるようになりました。

これからも「先人の志と知恵を忘れず、町民の皆さまと協働のまちづくり」を進め、町の将来像であります「人・緑 未来輝く生活都市 きくよう」の実現のために全力を挙げてまいりますので、皆さまのお力をお借りし、協力を願います。

最後に、本年が町民の皆さまにとってより良き年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

このような中で、本町に目を向けますと、おととしから始まった菊陽中学校の耐震化工事は順調に進んでおり、3年生も新校舎で卒業を迎えることができ、保護者の皆さまもご安心のことと思います。

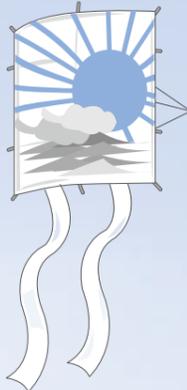
また、支所機能の他、健康・福祉、生涯学習などのサービスを備えた光の森町民センター(愛称「キャロピピア」)は当初の予定からオープンが遅れておりますが、年度内には開所になると思われれます。西部地区の新しいまちづくりの拠点としての役割が期待されています。

私も議会といたしましては、与えられました議事機関としての役割を果たすため、慎重に審議を行い、町民の皆さまに「この菊陽町に住んでいて良かった」と実感していただけるよう、執行部と切磋琢磨してまいります。

これからも開かれた議会を目指して、引き続き町民の皆さまの声を伺うため、議会活動報告を兼ねた意見交換会を開催してまいりますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

終わりに、本年が皆さまにとって実り多い幸せな一年となりますよう心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。

# 新年のごあいさつ



菊陽町長 後藤 三雄



## 「人・緑 未来輝く生活都市 きくよう」を目指して、まちづくりを進めてまいります

あけましておめでとうございます。平成27年の新春を迎え、町民の皆さまのご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げますとともに、町民の皆さまの町政に対する温かいご理解とご協力をいただいておりますことに對しまして、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年4月から年金・医療・介護・少子化対策などの社会保障財源確保のため、消費税率が8%となりました。政府は5兆円規模の経済対策、景気対策を行い、景気の回復に努めているところですが、予想以上の景気の停滞により、ことし10月からの消費税率10%への引き上げは先送りとしております。

昨年9月に発足した第二次安倍改造内閣においては、地域間でアベノミクス効果にばらつきがあることや、人口急減、超高齢社会に対応するため、まち・ひと・しごと創生本部を創設し、地方創生に取り組みることとしております。

このような中、町では第5期総合計画の後期基本計画策定に向け、小学校区単位の住民懇談会や各種団体との意見交換会を行い、地域ごとの課題・施策の方向性などを計画に盛り込むようにしております。

平成26年度の町の主な動きを挙げますと、待機児童の解消や子ども・子育て支援制度に備え、昨年4月に子育て支援課を新設し、福祉課との機能分担を行いました。

菊陽中学校では、安全で快適な学校生活を送れるよう、耐震と生徒増に対応するための改築工事が順

調に進んでおり、本年初めには完了し、3年生も新校舎で卒業を迎えることができます。

今春には支所、地域センター、体育館、子育て支援センターを備えた光の森町民センター(愛称「キャロピピア」)が開所します。西部地域の新しい活動拠点として、大いに利用していただくことができます。

昨年11月には、姉妹都市であります鹿児島県屋久島町と姉妹都市盟約20周年を記念しまして、本町と屋久島町でそれぞれ植樹を行いました。屋久島から贈られた非常に貴重な「ヤクタネゴヨウ」をはじめ、屋久島に生息するたくさんさんの樹木を杉並木公園の「屋久島の森」に植樹しました。

ことは町の前身となる菊陽村が誕生して以来、60周年の節目の年を迎え、住民基本台帳の人口も本年中には、4万人を超える見込みです。近年では商業施設も整い、世界を市場とする企業を誘致するなど、住みよい元気のある町と言われるようになりました。

これからも「先人の志と知恵を忘れず、町民の皆さまと協働のまちづくり」を進め、町の将来像であります「人・緑 未来輝く生活都市 きくよう」の実現のために全力を挙げてまいりますので、皆さまのお力をお借りし、協力を願います。

最後に、本年が町民の皆さまにとってより良き年となりますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

このような中で、本町に目を向けますと、おととしから始まった菊陽中学校の耐震化工事は順調に進んでおり、3年生も新校舎で卒業を迎えることができ、保護者の皆さまもご安心のことと思います。

また、支所機能の他、健康・福祉、生涯学習などのサービスを備えた光の森町民センター(愛称「キャロピピア」)は当初の予定からオープンが遅れておりますが、年度内には開所になると思われれます。西部地区の新しいまちづくりの拠点としての役割が期待されています。

私も議会といたしましては、与えられました議事機関としての役割を果たすため、慎重に審議を行い、町民の皆さまに「この菊陽町に住んでいて良かった」と実感していただけるよう、執行部と切磋琢磨してまいります。

これからも開かれた議会を目指して、引き続き町民の皆さまの声を伺うため、議会活動報告を兼ねた意見交換会を開催してまいりますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。

終わりに、本年が皆さまにとって実り多い幸せな一年となりますよう心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。